

考えることを促す手立て

～「学び方」に焦点を当てた中学部 総合的な学習の時間の活動～

小千谷市立総合支援学校 山田香苗

「学び方」

…目的や意図に応じた情報の集め方や調べ方、まとめ方や表現の仕方（学習指導要領 解説）

「学び方」に関する生徒の実態

- ・テーマについて、図書やインターネットを活用して自分で調べることは難しい。
- ・支援の必要度は個々に違うが、学習プリントの設問程度の長さの文であれば、多くの生徒が意味を理解でき、答えも書ける。
- ・分かったことをメモすることができる生徒が多い。発表できるような形にまとめることはできない。
- ・文字の理解がなく、また活動の意味を理解することにも困難がある生徒もいる。

目指す姿

- 学習プリント形式の資料を読み取り、答えを考えることで、テーマについての理解を深める。
- 理解したことをレポートの形に書き表し、成就感をもつ。
- 文字の理解がない生徒は、画像を張ることでレポートを完成し、活動に参加する。

全ての生徒が意欲的に、調べ学習やレポート作りに取り組むための支援の工夫

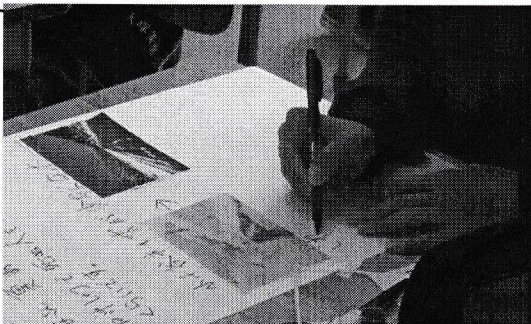
…ペットボトルキャップのリサイクルを通じて発展途上国の子どもにワクチンを届ける“エコキャップ活動”の単元において、届け先の発展途上国の一つ「バヌアツ」について調べる課題を設定した。

課題の焦点化

課題を“バヌアツレポート”作り一つにしぼったことで、やるべきことが分かりやすく伝わった。



レポートを完成できるように、必要に応じて下書きを入れておく支援



実態に応じた適切な難易度の資料

資料プリントの例

1 つよい 雨と風、わたしたちは、
と よびますね。
なぞりましよう

2 バヌアツ では、
と よびます。
なぞりましよう

つまり、サイクロンとは です。

文字の理解がない生徒も取り組める画像中心のレポートの用意

